

京都北山の最北部 三国峠周辺の山里の秋を巡る 2015.9.20.

旧鯖街道 根来・針畑越 & 芦生・美山への入口 朽木「生杉」から 美山茅葺集落へ



京都の田舎 大原 黄金色の田の畔を赤い彼岸花が縁取っていました 2015.9.20.



若狭・京都・近江の国境三国峠の下 旧若狭鯖街道 朽木針畑地区生杉集落

旧若狭鯖街道の朽木針畑地区「生杉」集落

京都北山の最奥部にある山・原生の森・安曇川源流の清流に抱かれた山里

- ◎ 旧鯖街道 根来・針畑越 若狭へ峠越えの入口
- ◎ 由良源流 芦生・美山 丹波へ三国峠越の入口

今回 初めて訪ねることができました



京都北山の最北部 三国峠周辺の山里の秋を巡る 2015.9.20.

旧鯖街道 根来・針畑越 & 丹波 芦生・美山への入口 朽木 生杉から美山茅葺集落へ

若狭・京都・近江の国境三国峠の下 朽木針畑地区生杉集落は
旧鯖街道 根来・針畑越 そして 丹波への三国峠越の古道の入口
一度是非歩いてみたかった場所
京都から 連休の渋滞を避けての帰り道に家内の運転で
清流 安曇川を遡り、北山原生林の森に抱かれた山里
若狭・京・近江をつなぐ歴史街道を訪ねました



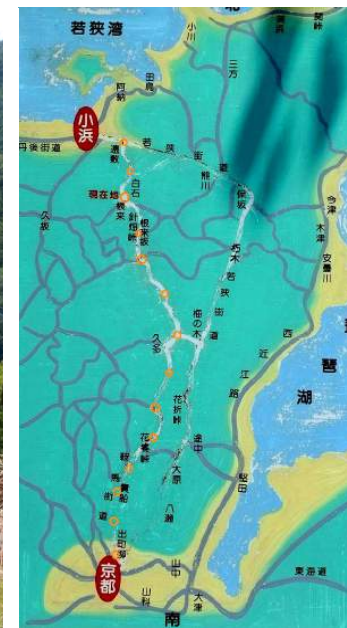


京都の田舎 大原の田園を彩る彼岸花



朽木へ向かう途中越 鯖街道 清流安曇川には釣り人 明王谷の山も素晴らしい初秋の色に

京都北山の最北部 三国峠周辺の山里の秋を巡る【1】 2015.9.20.



旧鯖街道 若狭・京・近江の国境 針畑・根来越 峠への入口 朽木針畑「生杉」は原生の森に抱かれた静かな山里



集落を抜け 丹波・芦生への三国峠(三国山)へ登る道は針畑川の源流に広がる生杉原生林の森

安曇川の源流に原生林の森が広がる山里「生杉」では 源流の駅「山帰来」を拠点に針畑ルネサンスの町おこしが進行中

京都北山の最北部 三国峠周辺の山里の秋を巡る【2】 2015.9.20.



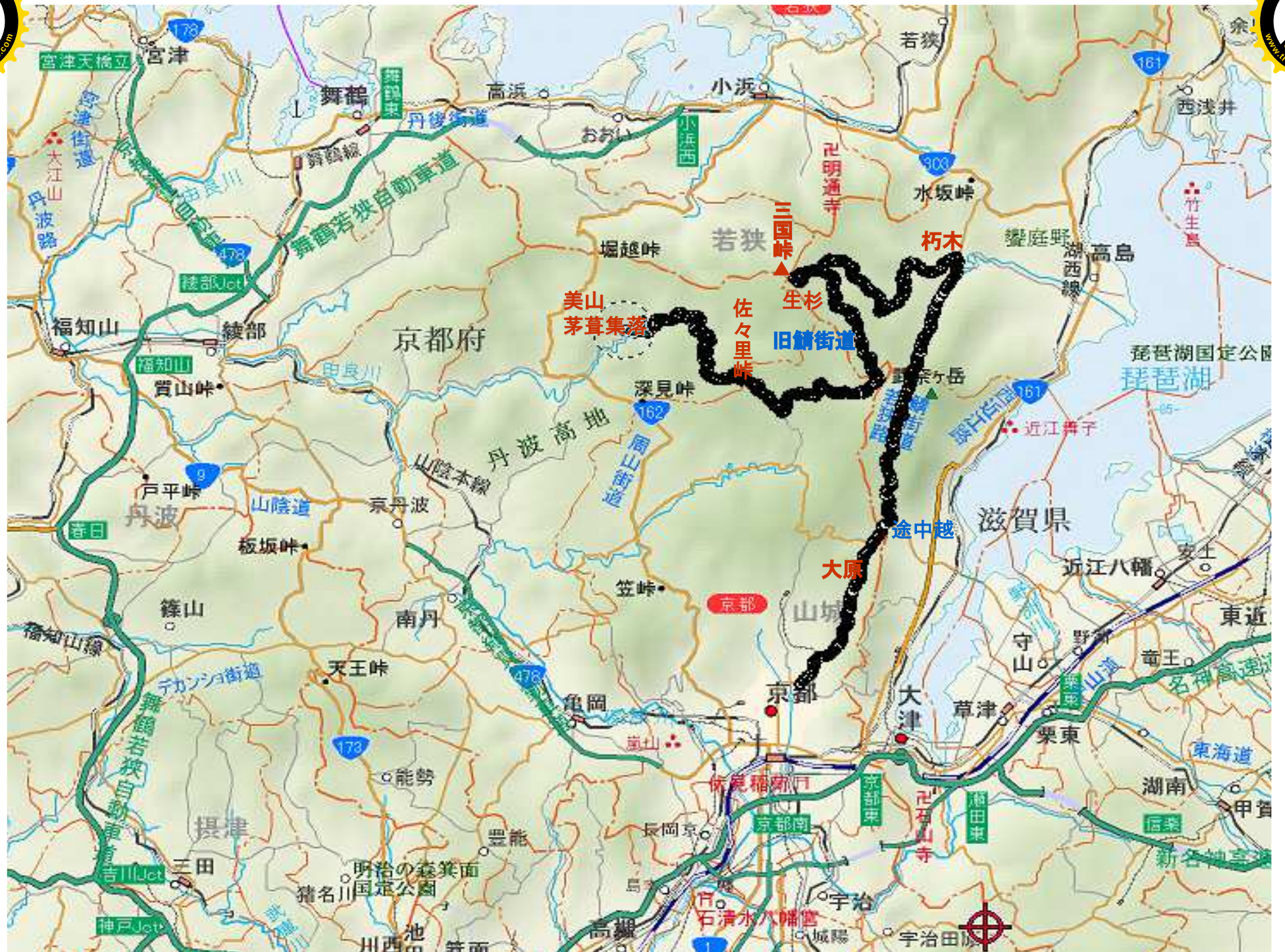
西の佐々里峠を境に東へ 広河原・能見・久多と続く京都最北の山里 こも京都市左京区です



佐々里峠を西へ下ると美山の里が広がる由良の源流域 美山の茅葺集落の秋に出会えました



京都北山の最北部 三国峠周辺の山里の秋を巡る【3】 2015.9.20.







真っ青な秋の空 若狭街道《鯖街道》国道367号線を北へ
高野川沿いを大原から途中越。
滋賀県側の安曇川沿いをさらに北の坊村から朽木へ
旧鯖街道 三国峠周辺の北山最北部に分け入る
そこから 山越をして 由良の清流から丹南美山町の茅葺の里をめざす

出来れば、途中 朽木から 旧鯖街道の国境越の道がよくわからぬ京都側の入口の集落
三国峠下の針畑地区へも行ってみたい。
また、安曇川・由良川のどこかで 鮎を奮りつけるのを期待して……

修学院 高野川 松ヶ崎橋から比叡山を眺める 2015.9.20. 9:30

高野川に沿って北へ



京の田舎 大原の里の初秋を彩る彼岸花 2015.9.20. 9:50



京の田舎 大原の里の初秋を彩る彼岸花

2015.9.20.



若狭街道《鯖街道》国道367号線を北へ 空は真っ青な秋の空
大原を抜け、途中トンネルを抜けると琵琶湖・堅田からの道との分岐 途中 2015.9.20. 10:07



途中から 花折峠をトンネルで抜けると北に流れる安曇川沿いに坂下・木戸口の集落を抜け坊村へ
安曇川の土手にはススキ そして安曇川には釣人の姿が見える

安曇川沿い 若桜街道 坊村の手前中村町で 20105.9.20. 10:20



坊村の手前 中村町を北に流れる安曇川 20105.9.20.





坊村の手前 中村町を北に流れる安曇川 20105.9.20.



坊村の手前 中村町を北に流れる安曇川 20105.9.20.

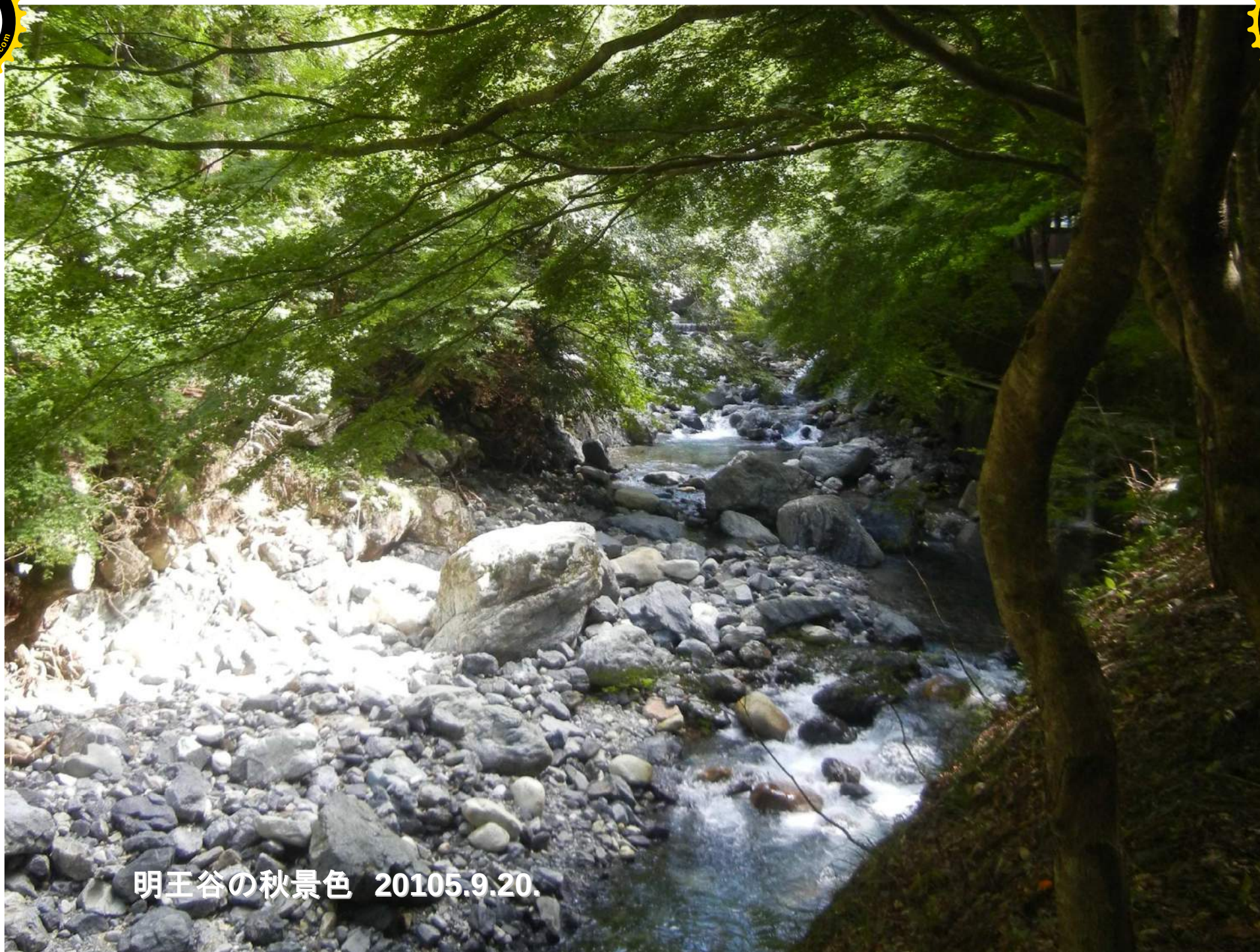




坊村明王院に立ち寄る

すぐ横の明王谷は比良への登山口

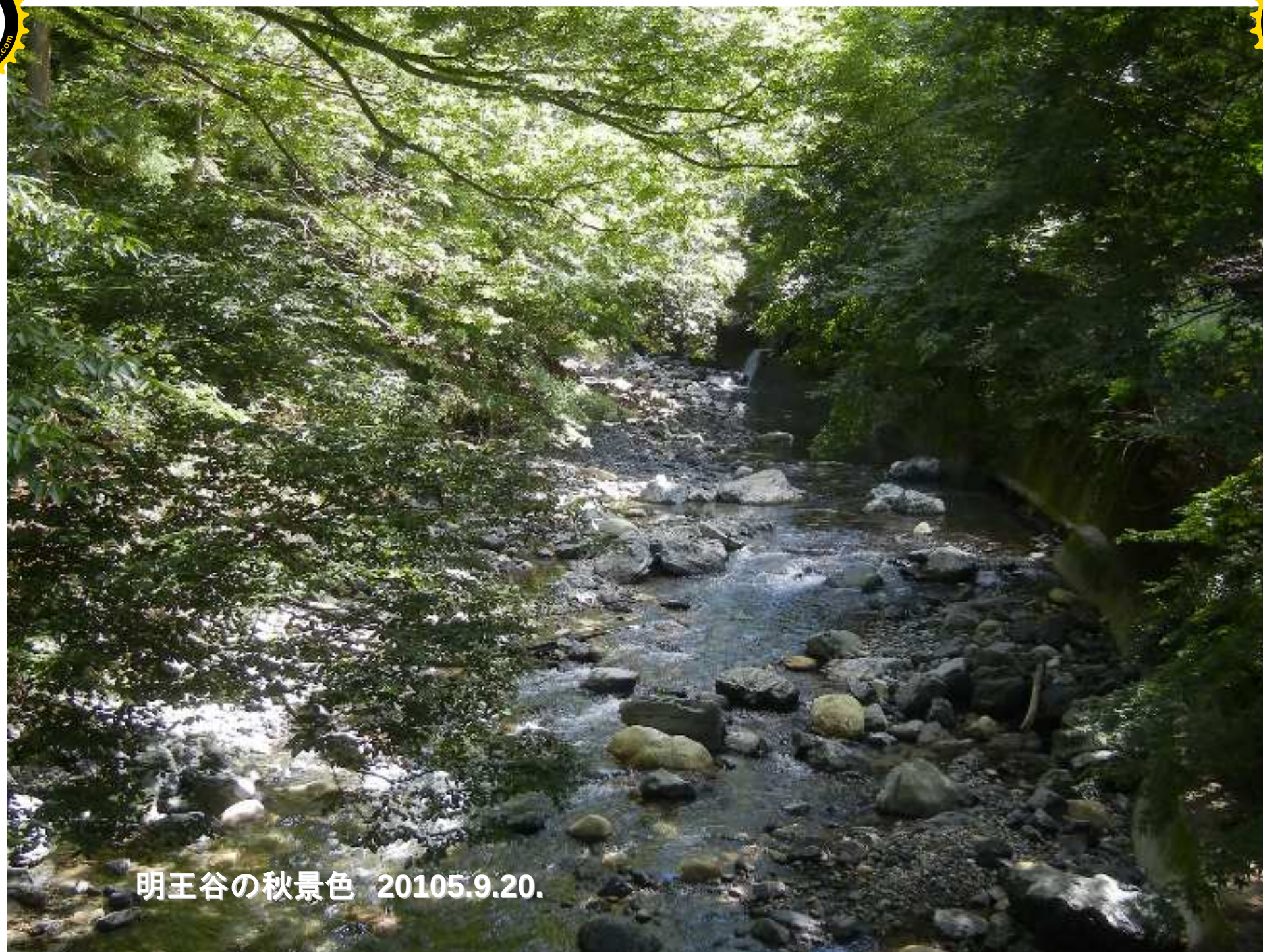
2015.9.20 10:30



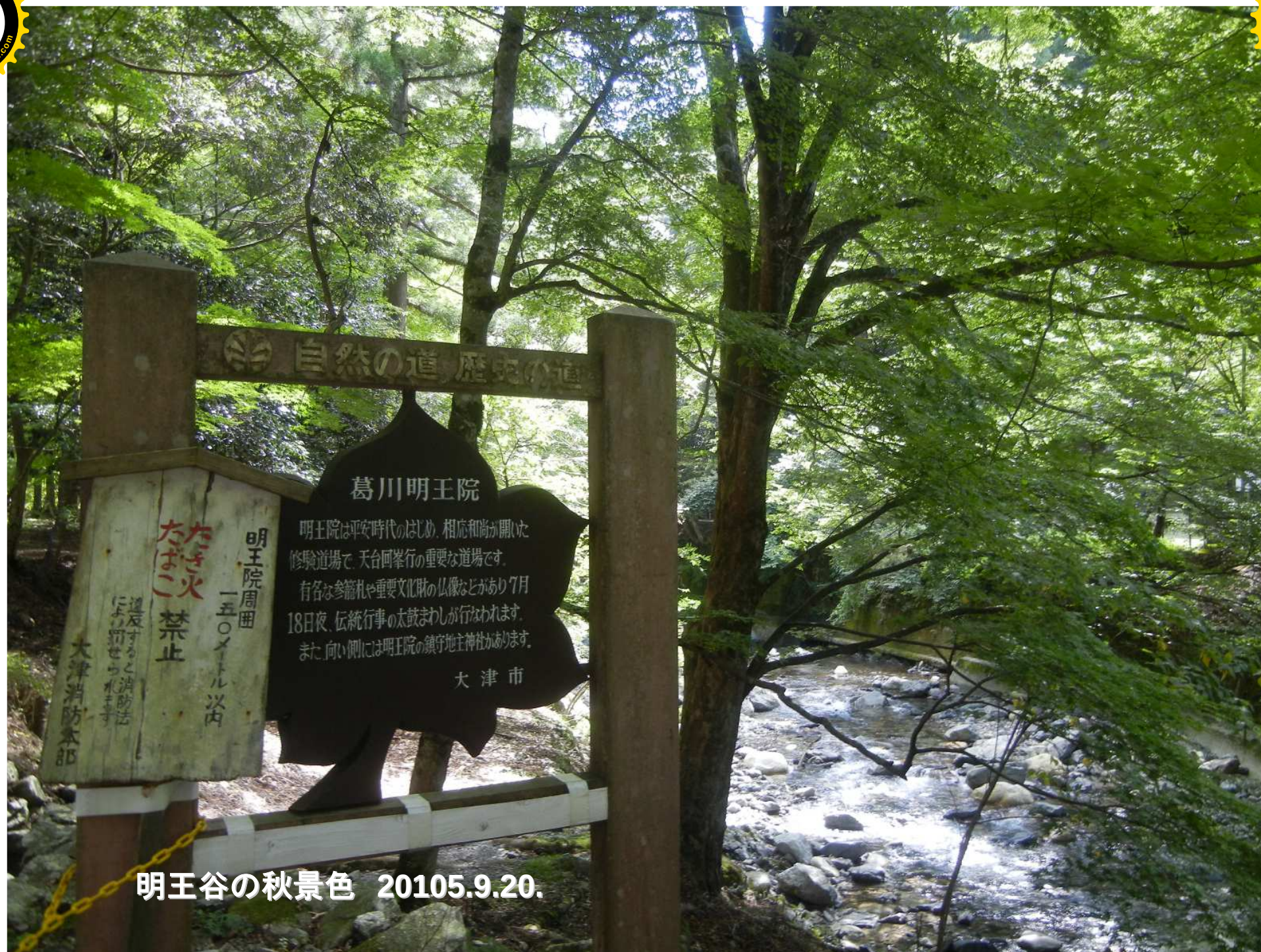
明王谷の秋景色 20105.9.20.



明王谷の秋景色 20105.9.20.



明王谷の秋景色 20105.9.20.



明王谷の秋景色 20105.9.20.



比叡山回峰行の道場として有名な明王院 20105.9.20.





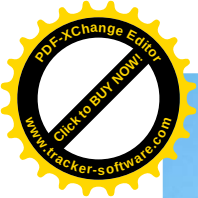
葛川梅ノ木 左へ分岐すると広河原・佐々里峠
真っ直ぐ行くと朽木地区に入ってゆく



高島市朽木 朽生の集落に入る

2015.9.20.

11:09



安曇川の桑野橋 河原には連休を利用したオートキャンプする人たち
さすが 自然休暇村をPRする朽木である 11:12

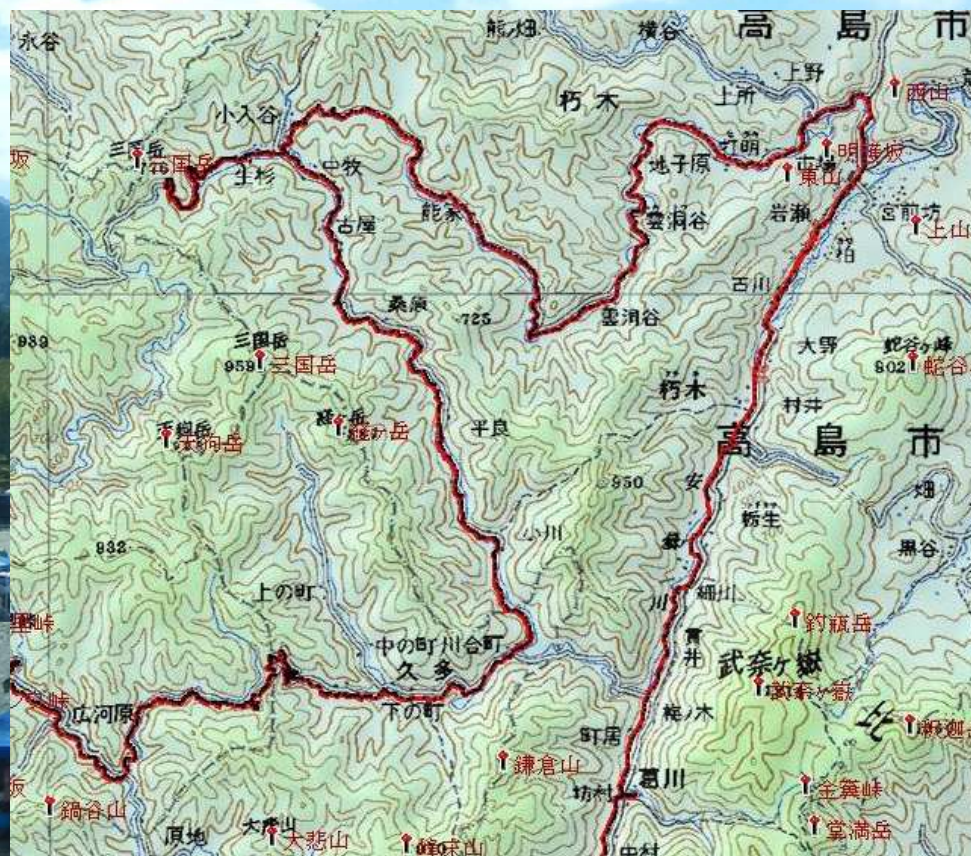
安曇川沿いを走り抜け、朽木の道の駅「新本陣」まで来ましたが、鮎の釣人は多いのですが、さすが鯖街道。鯖ずしの店はあるのですが、鮎の塩焼きをかぶらせてくれる店を用見つけられず 朽木の中心まで来てしまった。

日本海側 小浜の海岸沿いを避け、やっぱりここからいったん南へ引き返し、梅ノ木から東へ佐々里峠から美山の茅葺集落へ目指すことに。

地図を見ると以前から気になっている「旧鯖街道の道」若狭根来への若狭・滋賀国境越

滋賀・京都側入口「針畑地区生杉」集落へこの朽木からつながっていることが判った。また、うまくするとその生杉から林道を通して 三国峠越して芦生から美山へダイレクトに出られるかもしれない。

遠回りになるのですが、そのまま生杉への道をたどり、一応 そこから南へ針畑川沿いの旧鯖街道を南に下って、久多にて、東へ広河原・佐々里峠から美山への街道筋ことにしまして、
狭い谷筋を縫う県道783号線を生杉へ、



【参考 和鉄の道 Iron Roadより】

若狭小浜 旧若狭街道 針畑越 根来道 遠敷(おにゅう)の里 & 鵜の瀬

古墳時代 朝鮮半島との交流の玄関口「若狭」を再度訪ねる 2011.8.30.

2.3. 若狭と大和の深い関係を示す 若狭 遠敷川(おにゅうがわ)鵜の瀬の水送り

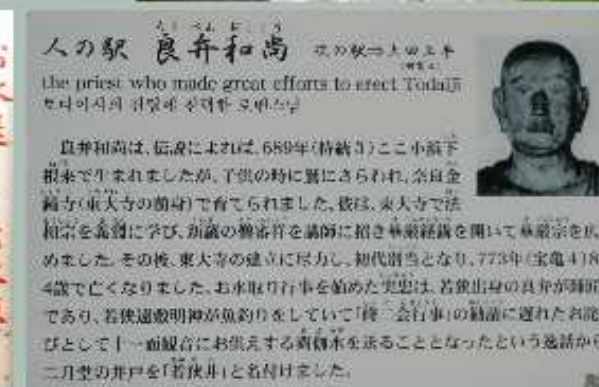
<http://www.infokkna.com/ironroad/2011htm/iron7/1110unose03.htm>

【鵜の瀬で目にした関係案内板の記】

鵜の瀬 鵜の瀬公園資料館にあった奈良東大寺お水取りと若狭 鵜の瀬 の関係を解説したパネル



鯖街道根来道
江戸から明治にかけて、若狭灘で捕れた魚介類は大急ぎで京都まで運ばれていた。
その代表的産物が「鯖」。
ひと塩した鯖は、京都に着くころになると、丁度食へ頃の味になったという。今も、小浜、京都間に残る幾筋もの「鯖街道」の誕生である。
この根来は、「京は遠ても十八里(現在でいう約72km)」と親しまれた針畑越のルートの一部。
ここから滋賀県朽木村へ抜ける京の都までの最短路であった。



【参考 和鉄の道 Iron Roadより】

若狭小浜 旧若狭街道 針畑越 根来道
遠敷(おにゅう)の里 & 鵜の瀬



奈良東大寺 二月堂への鵜の瀬 水送り神事

鯖街道根来道

江戸から明治にかけて 若狭湾で捕れた魚介類は、大急ぎで京都まで運ばれていた。
その代表的産物が「鯖」。
ひと塩した鯖は、京都に着くころになると、丁度食へ頃の味になったという。今も小浜、京都間に残る幾筋もの「鯖街道」の誕生である。
ここ根来は、「京は遠ても十八里(現在でいう約72km)」と親しまれた針畑越のルートの一部。
ここから滋賀県朽木村へ抜ける京の都までの最短路であった。

史跡

鵜の瀬 由緒記

天平の昔、若狭の神願寺(神宮寺)から奈良の東大寺にゆかれた印度僧、実忠和尚が大仏開眼供養を指導の後、天平勝宝四年(七五三)に二月堂を創建し、修二会を始め、その二月初日、全国の神々を招待され、すべての神々が参列されたのに、若狭の遠敷明神(彦姫神)のみは見えず、ようやく二月十二日(旧暦)夜中一時過ぎに参列された。それは川沿に時を忘れて置かれたので、そのお記びもかねて若狭より二月堂の本尊へお香水の閑伽水を送る約束をされ、そのとき二月堂の下の中から白と黒の鵜がとび出て、その穴から泉が湧き出たのを若狭井と名付け、その水を汲む行事が始まり、それが有名な「お水取り」である。その若狭井の水源がこの鵜の瀬の水の中洞穴で、その穴から鵜が奈良までもぐっていったと伝える。この伝説信仰から地元では毎年三月二日夜この淵へ根来八幡の神人と神宮寺僧が神仏混淆の「お水送り」行事を行う習慣がある。





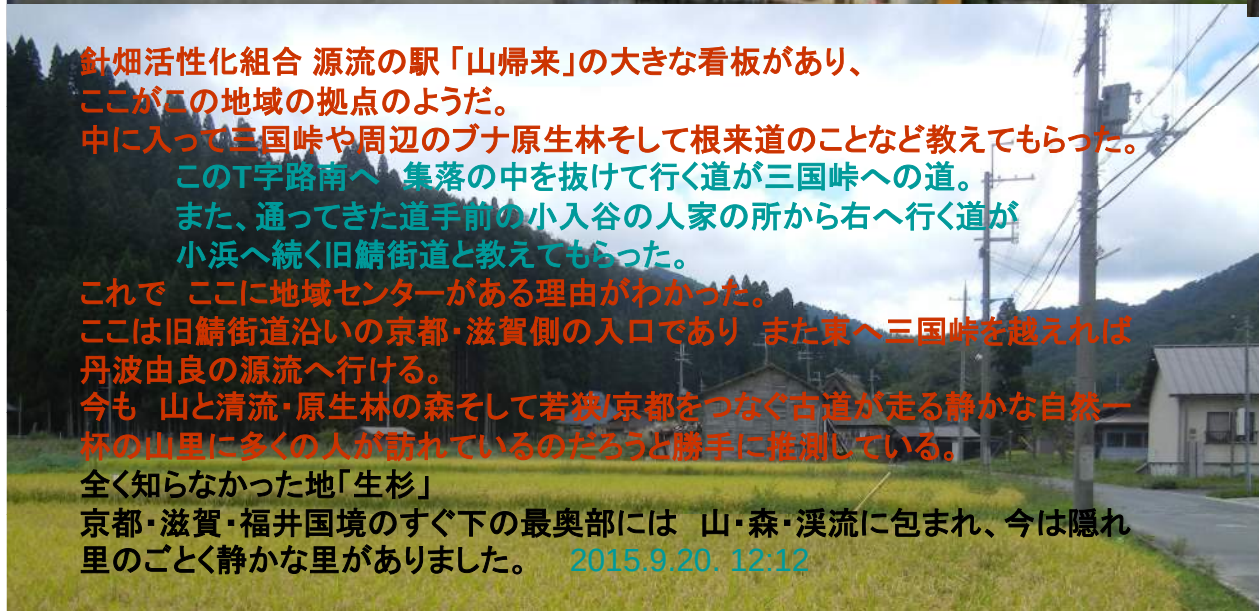


朽木の道の駅から直ぐ北 市場で西から安曇川に合流してくる麻生川・北川の谷筋を遡る県道783号線に入る。舗装道路で道に心配はないのですが、杉林が美しい山また山の狭い谷川筋。
ただひたすら山中 谷川に沿ってカーブを繰り返し、完全に方向を見失ったが、谷筋を奥へ奥へと遡り、一番奥の小さな集落?「能家」の人家にほっとするも、また、奥をさらに奥へ。
北の百里ヶ岳から伸びる尾根筋との鞍部の小さな峠を越すと突然 山中から田圃がある平地に飛び出し、食事・営業中の旗が立っている大きな建物が建つT字路に出た。人影も見当たらず、びっくりしましたが、ここが針畑川が流れ下る「生杉」の集落だった。 福井・滋賀・京都の分水界三国峠への道 京都・滋賀側の最奥部である。



朽木から 蛇行する谷筋北側沿いの谷筋を遡って
福井・滋賀・京都の府県境三国峠の下の集落《生杉》へ向かう県道783号線
ちょうどススキの季節 谷川沿いのススキが美しい 2015.9.20.





針畑活性化組合 源流の駅「山帰来」の大きな看板があり、
ここがこの地域の拠点のようだ。
中に入って三国峠や周辺のブナ原生林そして根来道のことなど教えてもらった。
このT字路南へ 集落の中を抜けて行く道が三国峠への道。
また、通ってきた道手前の小入谷の人家の所から右へ行く道が
小浜へ続く旧鯖街道と教えてもらった。
これで ここに地域センターがある理由がわかった。
ここは旧鯖街道沿いの京都・滋賀側の入口であり また東へ三国峠を越えれば
丹波由良の源流へ行ける。
今も 山と清流・原生林の森そして若狭/京都をつなぐ古道が走る静かな自然一
杯の山里に多くの人が訪れているのだろうと勝手に推測している。
全く知らなかった地「生杉」
京都・滋賀・福井国境のすぐ下の最奥部には 山・森・溪流に包まれ、今は隠れ
里のごとく静かな里がありました。 2015.9.20. 12:12





このT字路の南へ三国峠へ登る道に沿って 集落がひろがっている。そしてその先はブナの原生林が広がる三国峠への道で 峠を越えて芦生演習林の北側入口 長治谷へと続いていると聞く。
最も 演習林へのゲートは閉ざされているので、行き止まりで 引き返さねばならないらしい。
でも美しいブナの原生林が見られる林道と聞いて、集落を抜けて、三国峠への登り口周辺まで行くことに。

山奥の里ですが、早くから開けた街道筋 黄金色の田が集落に接して広がっている

丹波への三国峠越 & 若狭への針畑越 日本海若狭と京都・滋賀を結ぶ古道の入口 針畑生杉 2015.9.20.





生杉の集落で 2015.9.20.



生杉の集落で 2015.9.20.



生杉の集落で 2015.9.20.



生杉ブナの原生林へ 2015.9.20.



生杉集落を抜けると三国峠への道はブナ原生林の森の中へ 2015.9.20.



ブナの原生林が道脇の池に姿を映し、幻想的な景色 20105.9.20.



生杉ブナの原生林で 2015.9.20. 12:25

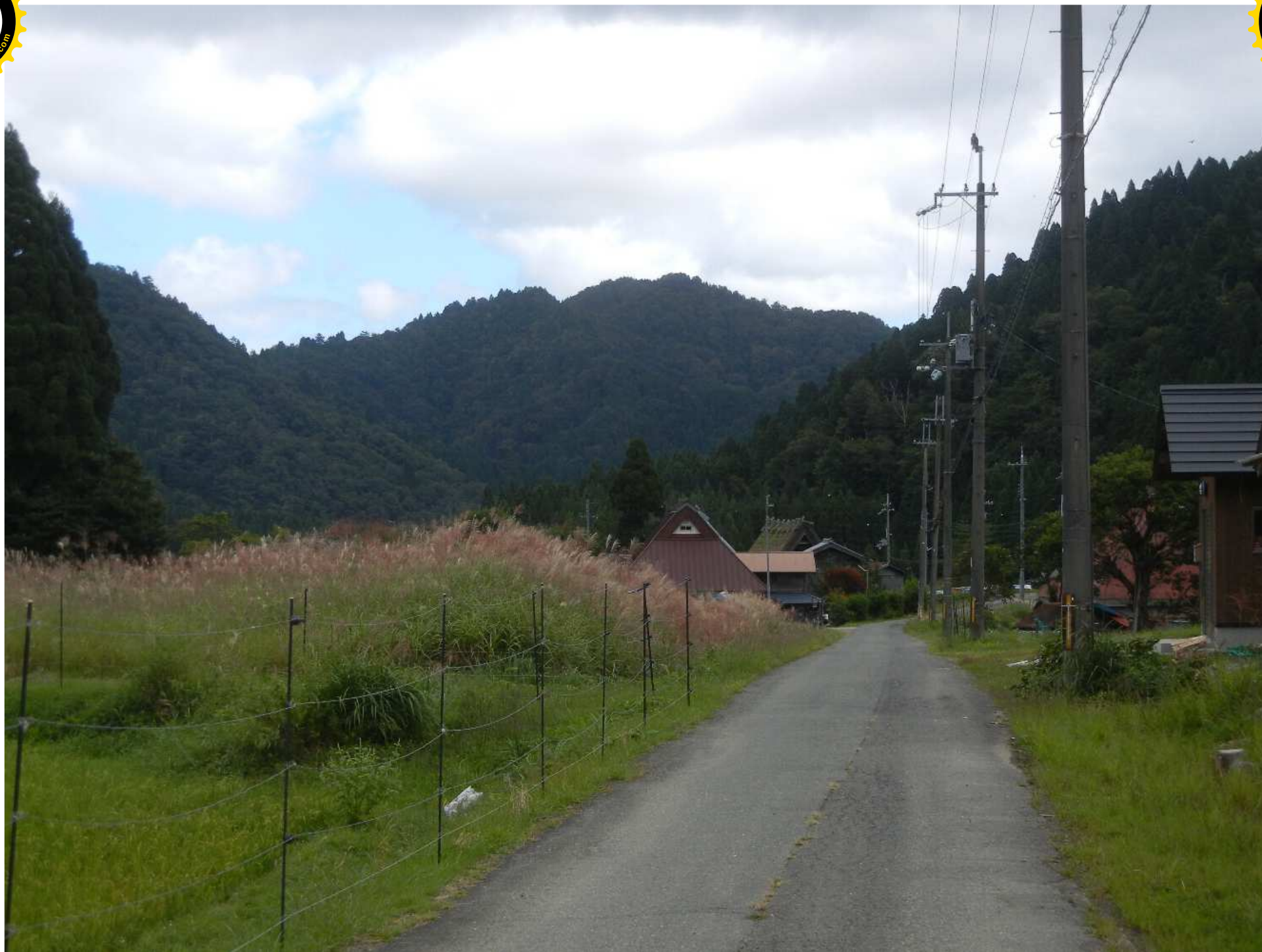


生杉ブナの原生林で 2015.9.20.



地元の人の車が1台降りてきた。芦生の演習林へのゲート開いてないか再度聞いてみたが、やっぱり行き止まりで戻らねばダメだという。 三国峠を越えて 長治谷のゲートまで確かめたかったのですが、ここで引き返して、佐々里峠の道へ









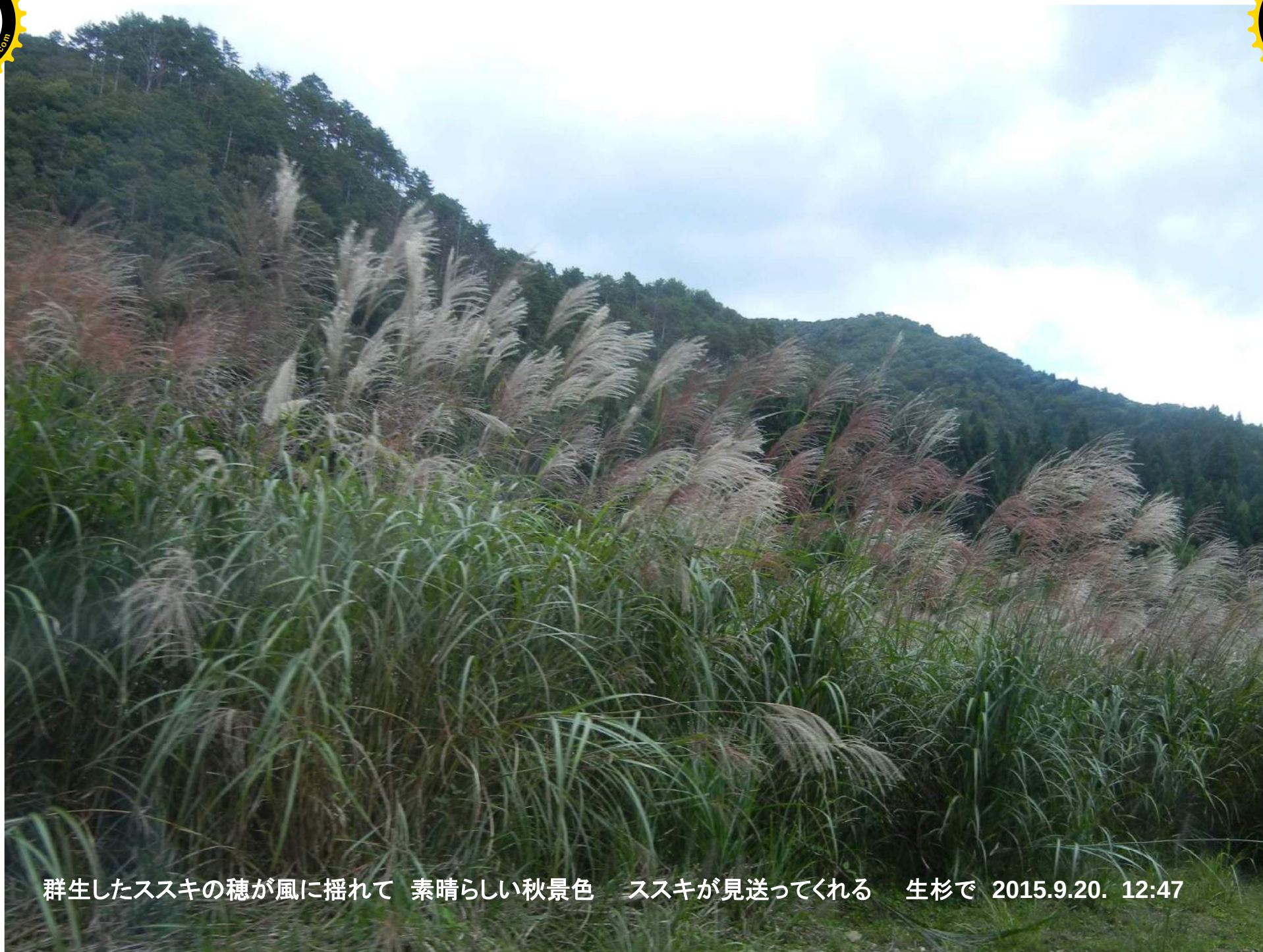






源流の駅「山帰来」地域交流センターの所まで戻り、T字路を右に取り、再度県道783号線を南の久多・梅ノ木へ下ってゆく。この道は旧 若狭・滋賀国境から針畑峠から南へ、針畑川の流れて沿って真っ直ぐ梅ノ木へ下ってゆく旧鯖街道である。

群生したススキの穂が風に揺れて 素晴らしい秋景色 ススキが見送ってくれる



群生したススキの穂が風に揺れて 素晴らしい秋景色 ススキが見送ってくれる 生杉で 2015.9.20. 12:47









人工の溪流での溪流釣り イワナ等の手づかみ そして溪流魚の食事・バーベキューなどが楽しめる施設とあって、数多くの人で一杯。でもすぐ下に溪流があるのになんで……と。

梅ノ木から東の久多・広河原へ延びる道路へ出るすぐ手前の朽木溪流センター 朽木小川で 2015.9.20.



針畑川が西から流れてきた大谷川を合流して東の梅ノ木でアド川に注ぐ
旧鯖街道はここを東に折れて、梅ノ木に出て、花折れ・途中越をして京に向かう

地理的にもよく知った道に出て、ほっと一息 2015.9.20. 13:11

今日はこの合流点から西へ 丹南市美山の茅葺の里へ向かう。
久多から広河原への県道110号線へ、そして佐々里峠を越えて 由良源流を経て 美山町へ



久多 ここは京都市左京区 京都市の最北部
学生時代に 芦生から三国ヶ岳の久多川源流からこの久多へ降りたことがある



緑の山椒の実しか知りませんでしたが、完熟した赤い山椒の実を見つけました。熟した赤い実がはじけて 中から黒い種が出てくるのだそう。



能見峠への手前 久多の道筋にも茅葺の家が見られました 2015.9.20.



久多から能見への峠道 2015.9.20.



下に久多の集落遠く比良武奈ヶ岳が見える能見峠周辺 2015.9.20. 13:30



2015.9.20. 能見峠



広河原 2015.9.20.



佐々里峠へ登る途中にある台杉の巨樹 今回も出会えました 2015.9.20. 14:00



佐々里峠へ登る途中にある台杉の巨樹 今回も出会えました 2015.9.20.



佐々里峠を越えて丹南市へ 2015.9.20. 14:02



芦生から西へ流れ下る由良川に出て、川に沿って美山の茅葺集落へ 田歌周辺で 2015.9.20. 14:28



黄金色の田の向こうの山裾に茅葺屋根の集落が見えてきた 2015.9.20. 14:34



茅葺集落の周辺は多くの車と人でごった返しているが、
真っ白な蕎麦畑と黄金色の田の奥の山裾に茅葺屋根の家が立ち並ぶ
イメージ通りの秋景色 今年も出会えました 2015.9.20. 14:42



美山茅葺集落の秋景色(1) 2015.9.20.



美山茅葺集落の秋景色(2) 2015.9.20.



美山茅葺集落の秋景色 シンボル赤い郵便ポストの通り 2015.9.20.



美山茅葺集落の秋景色 シンボル赤い郵便ポストの通り 2015.9.20.



美山茅葺集落の秋景色 蕎麦畑越しに茅葺集落を眺める 2015.9.20.



美山茅葺集落の秋景色 2015.9.20.



由良川の土手から眺めた茅葺集落 2015.9.20.

集落の中へ向かう人の多さに集落の中へは行かず、15:00を過ぎたので 西へ帰ることに



美山茅葺集落から西の安掛峠に出て 久しぶりにデカンショ街道を走りたくて、
地図と見比べながら 由良川と別れて県道19号を南下して園部に出て、
国道372号 デカンショ街道を真っ直ぐ西へ 篠山へ出て神戸に向かう

9月の連休 京都から名神の渋滞を避けて北から帰ろうと決め、
前は亀岡・能勢を抜けたので、久しぶりに朽木・美山を通して 篠山から帰ることに。

おかげで ずっと気になっていた京都北山の最北部 三国峠周辺の山里を巡ることができ、
また、美山茅葺集落にも……。

全く渋滞に巻き込まれることもなく、自然一杯の京都の田舎・山里の秋景色を満喫して
「今日は知らなかった意外な景色を幾つも見られたなあ」と一日を振り返りつつ、
デカンショ街道を夕日と競争しつつ神戸へ走る。

今日も楽しい京都北山 京都最北部を巡るCountry walkが楽しめました。

20105.9.20.夕 Mutsu Nakanishi

【参考 和鉄の道・Iron Road】

1. 若狭小浜 旧若狭街道 針畑越 根来道 遠敷(おにゅう)の里 & 鵜の瀬
古墳時代 朝鮮半島との交流の玄関口「若狭」を再度訪ねる 2011.8.30.
2.3. 若狭と大和の深い関係を示す 若狭 遠敷川(おにゅうがわ)鵜の瀬の水送り
<http://www.infokkna.com/ironroad/2011htm/iron7/1110unose03.htm>
2. 京都北山ドライブ 花脊峠・佐々里峠を越えて 由良川源流へ
北山の森・大悲山 峰定寺・美山「かやぶきの里」を訪ねる 2012.9.17.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/walk9/1210miyama00.htm>



刈入れが終わった田の畔を飾る彼岸花 篠山デカンショ街道 篠山で 2015.9. 20.夕 16:50



酒米「山田錦」の田に酒蔵の旗が翻る東播磨「山田錦の里」 加東市東条大川瀬で 2015.9.20. 17:05



北神戸 丹生の里 山田で 日没 2015.9.20. 5:45
日暮れまでに神戸へ帰りつきました